

### 第32回全日本シニアバドミントン選手権大会要項（案）

ー公益財団法人スポーツ安全協会スポーツ普及奨励助成事業ー

1. 主催 公益財団法人 日本バドミントン協会
2. 主管 福井県バドミントン協会
3. 後援 (予定) 福井県、福井県教育委員会、公益財団法人福井県体育協会、開催市町、開催市町教育委員会
4. 期日 平成27年11月20日（金）～23日（祝・月）  
11月20日（金）開会式  
11月21日（土）競技（第1会場～第9会場）  
11月22日（日）競技（第1会場～第9会場）  
11月23日（祝・月）競技・閉会式（第1会場）
5. 会場 第1会場 敦賀市総合運動公園体育館（16コート）  
敦賀市杳見149-1（電話：0770-23-6638）  
第2会場 敦賀市立体育館（8コート）  
敦賀市松葉町1-2（電話：0770-22-5244）  
第3会場 美浜町総合体育館（8コート）  
三方郡美浜町久々子26-30（電話：0770-32-3200）  
第4会場 越前市体育館（10コート）  
越前市高瀬2-8-23（電話：0778-22-6395）  
第5会場 福井市体育館（10コート）  
福井市松本4-10-1（電話：0776-20-5394）  
第6会場 福井市南体育館（6コート）  
福井市下筋生田33-1（電話：0776-41-4420）  
第7会場 三国体育館（13コート）  
坂井市三国町中央1丁目6-2（電話：0776-82-4686）  
第8会場 大野市エキサイト広場総合体育施設アリーナ（10コート）  
大野市桜塚町601（電話：0779-66-1433）  
第9会場 永平寺町緑の村ふれあいセンター（9コート）  
吉田郡永平寺町山10-1（電話：0776-63-4222）
6. 種目 男子30歳以上 単・複 女子30歳以上 単・複 30歳以上 混合複  
男子35歳以上 単・複 女子35歳以上 単・複 35歳以上 混合複  
男子40歳以上 単・複 女子40歳以上 単・複 40歳以上 混合複  
男子45歳以上 単・複 女子45歳以上 単・複 45歳以上 混合複  
男子50歳以上 単・複 女子50歳以上 単・複 50歳以上 混合複  
男子55歳以上 単・複 女子55歳以上 単・複 55歳以上 混合複  
男子60歳以上 単・複 女子60歳以上 単・複 60歳以上 混合複  
男子65歳以上 単・複 女子65歳以上 単・複 65歳以上 混合複  
男子70歳以上 単・複 女子70歳以上 単・複 70歳以上 混合複  
【公開競技】  
男子75歳以上 単・複 女子75歳以上 単・複 75歳以上 混合複  
※上記年齢は平成27年4月1日現在のものとする。

7. 競技規則 2014-2015 年度（公財）日本バドミントン協会競技規則・同大会運営規程・同公認審判員規程による。
8. 競技方法 各種目ともトーナメント方式とし、3 位決定戦は行わない。
9. 使用用器具 平成 27 年度（公財）日本バドミントン協会検定・審査合格用器具及び第一種検定合格水鳥球を使用する。
10. 参加資格 平成 27 年度（公財）日本バドミントン協会の登録会員で次のいずれかに該当する者。  
 (1) 前年度本大会 各種目ベスト 16 以上の者。  
 （該当種目に限らず 2 種目の参加を認める。）  
 (2) （公財）日本バドミントン協会決定の各都道府県割当枠内の推薦者。  
 なお、参加者は（公財）日本バドミントン協会公認審判員の有資格者であること。
11. 組合せ （公財）日本バドミントン協会指名の競技役員長（レフェリー）の指示の下、競技審判部長（デピュティレフェリー）及び福井県バドミントン協会役員との間で厳正に執り行う。
12. 参加制限 (1) 各都道府県の最低割当数は 6 名とする。  
 (2) 各都道府県の割当数は平成 26 年度（公財）日本バドミントン協会登録区分一般登録数の 5%とする。ただし、次の選手は割当数に含めない。  
 ①前年度本大会、各種目ベスト 16 以上の選手。  
 ②公開競技に出場する選手。  
 (3) 1 選手の参加は 2 種目以内とし、「単」と「混合複」は兼ねて出場できない。  
 (4) 参加申込状況により主管県の判断で追加参加を認めることができる。
13. 参加料 1 人 1 種目につき 5,000 円とする。（複：10,000 円/1 組）  
 参加料は、所属都道府県協会ごと一括して、申込締切までに次の口座に振込むこと。  
**【振込先】** 金融機関：未定  
 口座番号：未定  
 口座名義：未定
14. 申込締切 平成 27 年 8 月 17 日（月）必着のこと。
15. 申込方法 同封の USB メモリーにある所定の申込書に必要事項を入力してから印刷を 3 部取り、各々を正・副・控として、正・副に各都道府県協会会長印を捺印の上、所属都道府県協会毎に一括して申込締切までに次に送付すること。また、「選手名変更届け」、「同姓同名選手届け」の該当者がいる場合は、同様に送付すること。  
 なお、入力した USB メモリーは「申込書（副）」と一緒に大会事務局へ送付願います。  
 (正) 〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育館内  
 公益財団法人日本バドミントン協会 事務局 宛  
 (副) 〒 (未定)  
 第 32 回全日本シニアバドミントン選手権大会 事務局 宛  
 (控) 各都道府県協会にて保管すること

16. 宿 泊 別紙（宿泊・弁当・交通のご案内）を参照のこと。
17. 着 衣 試合時の服装で色付着衣を使用する場合は（公財）日本バドミントン協会の審査合格品とし、上衣の背面には明瞭に判断できる文字で都道府県名を明記すること。
18. 表 彰 (1) 各種目の優勝者に（公財）日本バドミントン協会から金メダルを授与する。  
(2) 各種目の準優勝者に福井県バドミントン協会から銀メダルを授与する。  
(3) 各種目の第3位に福井県バドミントン協会から銅メダルを授与する。  
(4) 各種目とも優勝～第3位には（公財）日本バドミントン協会から賞状を授与する。
19. 大会事務局 （未定）
20. 備 考 (1) 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に使用することはありません。  
(2) 事故による応急処置は主催者側で行いますが、一切の責任は負いません。参加者は健康保険証を持参すること。  
(3) 参加者は各自でスポーツ傷害保険に加入すること。  
(4) 他都道府県選手と組んで「複」に出場する場合は両方の都道府県から申し込むこと。  
(5) 11月20日（金）の開会式終了後、同会場でレセプションを開催します。  
(6) 本大会は敗者審判制（線審のみ）を導入します。  
(7) （公財）日本バドミントン協会環境委員会からのお願い。  
① ゴミの分別収集にご協力願います。  
② 部屋から出るときはエアコン、テレビ、ライトのスイッチを消してください。  
③ マイ歯ブラシを持参して大会に参加してください。